



介護発祥の大学病院として病院が 地域包括ケア構築の要の存在に

全国的にも稀な介護発祥の法人が手がける日本医療大学病院。
回復期機能の充実や、医療・介護を一体的に提供する
仕組みにより、地域住民の健康と安心な暮らしを支える。

vol.45

病院新時代



社会福祉法人ノテ福祉会 日本医療大学病院 (札幌市豊平区)

日本医療大学病院の新たな視点

- 地域包括ケアシステムの要となる病院づくり
- 在宅復帰を支援する回復期病棟の運用
- 医療と介護を一体的に支援する窓口を設ける

1 回復期病棟フロアのナースステーション前には食堂を設けた。離床して、食堂で食事をとる生活リハビリを日常的に可能にする 2 手指のリハビリと評価が行えるロボット「AMADEO」を導入。空き時間に先輩スタッフが新任スタッフに使い方をレクチャーする 3 各患者の状態に合わせてられるよう車椅子や歩行器は多数そろえる 4 介護老人保健施設とは渡り廊下でつないでいる 5 リハビリ室の一角には自宅の居間のような空間を設け、より実践的な訓練を行っている 6 外来診療のほか訪問診療にも注力する大友透院長。「患者家族のことも支えられる病院でありたいです」と語る

リハビリテーション科の希望が反映された、大きな鏡と広いスペースを確保したリハビリテーション室



社会福祉法人ノテ福祉会
日本医療大学病院
〒062-0053
札幌市豊平区月寒東3-11-1-55
TEL: 011-852-6777
病床数: 65床(回復期リハビリテーション
病棟入院料46床、障害者病棟をコロナ病
床19床に転換)
URL: <http://nihoniryuu-h.jp/>

札幌市の月寒地区で特別
養護老人ホームを開設
したことに始まり、今
や同市内を中心に90超の事業所を
運営する社会福祉法人ノテ福祉
会。2018年に初めて病院事業
を承継し、その2年後、発祥の地
でリニューアルを遂げたのが、日
本医療大学病院だ。

めざすのは、地域包括ケアシ
テム構築を果たす病院として機能
を発揮すること。そもそも同法人
は、現在の定期巡回・随時対応型
訪問介護看護のモデルとなった24
時間型の在宅サービスの開発な
ど、全国に先駆けて地域包括ケア
システムの構築に取り組んできた
歴史がある。そのため同院におい
ても、地域の急変患者に対応する
急性期機能は残しつつ、在宅復帰
を支援する回復期機能も担うため
の基盤づくりに力を注ぐ。

リハビリテーション科の森長俊
晃科長は、「1月から回復期リハ
ビリテーション病棟入院料5の算
定を開始し、夏にはさらに上をめ
ざします。病棟の運用を軌道に乗
せ、地域にPRしていきたい」と
力を込める。総勢40人超のセラ
ピストは、敷地内にある同法人の
大学出身者も多い。同じ教育を受
けてきた者同士ならではのチーム
力の高さも強みの1つだ。「コロナ
が収束したら、もっと大学との交
流も深めていきたい」と森長さん。

5月からは医療と介護の窓口と
なる総合地域連携室が稼働した。
ここが医療や介護を必要とする地
域住民にとっての総合窓口となり、
要望や状態に応じて同院をはじめ、
法人内外の高齢者施設など適切な
機関とつなぐコーディネータ的役
割を担う。大友透院長は、「地域
住民を一体的に支援するのはもち
ろん、法人内の連携も促進する存
在になれば」と期待を込める。

今後は、移転新築前から取り組
んでいた訪問診療の拡充や外来リ
ハビリの提供も視野に入れる一方
で、急きょコロナ病床の開設も決
まった。「介護発祥の大学病院で
ある強みを発揮し、地域住民を支
えられる病院をめざします」(大
友院長)

撮影=宮澤修一(Photoworks FREAK)